

TOKUSHIMA INNOVATION HUB

県産農産物を有効活用したインバウンド向け等加工品開発

リーダー：模擬会社 徳島農大そらそうじゃ



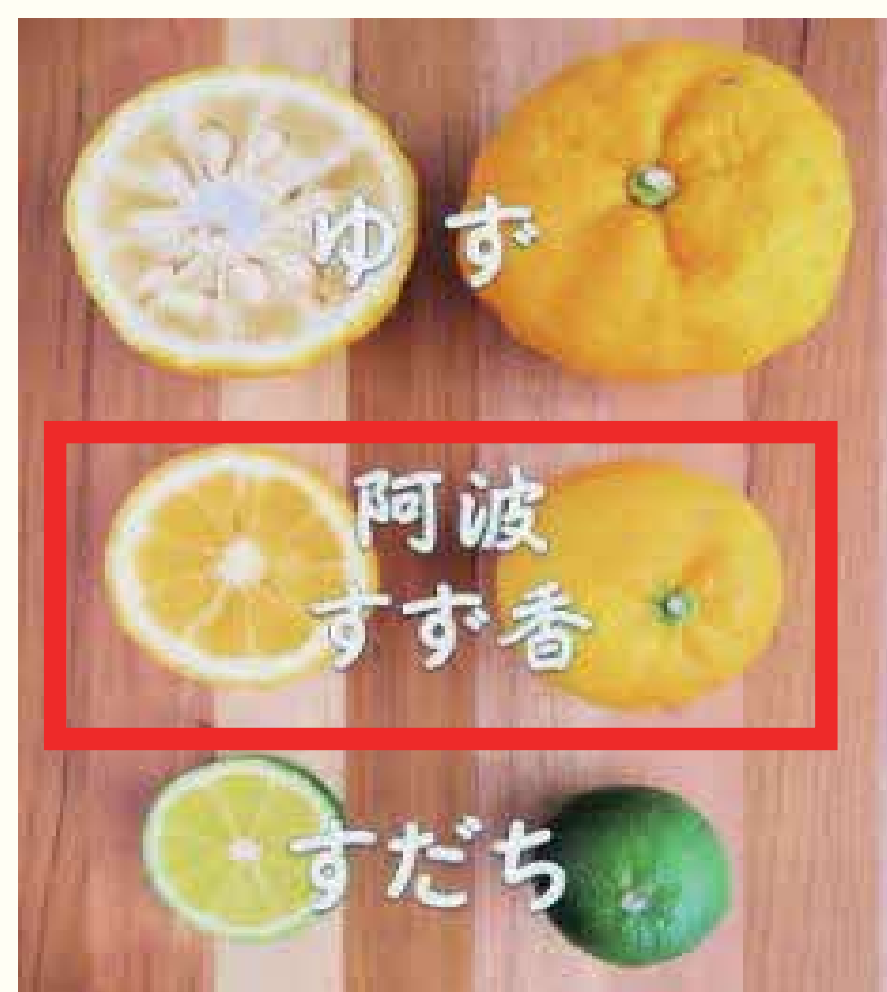
チームメンバー：市岡製菓（株）、（有）ニコニコやみやげ店、UGDESIGN

■ 背景

- ・本県への海外直行便就航などを背景にインバウンド需要が拡大
- ・外国人観光客等の購買意欲やニーズに効果的に訴求する「新商品」や「新サービス」が必要

■ 目的

- ・学生ならではの柔軟な発想力を活かし、本県ならではの「6次化商品」を企画・開発することで、学生による経営力のスキルアップとともに、県産品の販売拡大・認知度向上を目指します。
- ・インバウンドに「ゆず」が人気であることから、同じく香酸柑橘で県が育成した「阿波すず香」の商品開発や知名度アップに取り組みます。



■ 活動内容

学生が県内企業と連携し、インバウンド等に向けた「6次化商品」の企画・開発を実施しました。

取組内容①

インバウンド向け商品開発打ち合わせ



県内企業と商品開発打ち合わせ



試作検討

取組内容②

阿波すず香新商品のプレスリリース

- ✓学生がマスコミに向けて新商品「阿波すず香 パンナコッタ」発売のプレスリリースを実施



新商品プレス発表会

取組内容③

商品開発第一弾「阿波すず香パンナコッタ」販売



ハレルヤスイーツキッチン松茂本店で発売イベントの開催

取組内容④

インバウンド等商品開発先進地視察研修



インバウンド向け商品開発の研修



京都で6次化商品の市場調査